

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：販売対策担当

内線：4101

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B13	東京2020大会 彩り豊かな県産農産物でおもてなし事業		一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	埼玉農産物ブランド化推進事業費	
事業期間	令和元年度～令和2年度	根拠法令			宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
					分野施策	061348	郷土の魅力の創造発信	
1	事業概要		5 事業説明					
<p>本県は東京2020大会で、4つの競技会場を有するとともに複数のホストタウン、キャンプ地が予定されている。</p> <p>県産農産物が県内を含む競技会場をはじめとした関連施設、特に、VIP等や競技会場で使用されることは、産地の誇りやモチベーションの向上に繋がるため、ケータリング事業者などに対して効果的に県産農産物の魅力を伝達し、使用を働きかける。</p> <p>事務費の節減による減額 (1)「東京2020大会」食材供給推進事業 △352千円 (2)県産農産物利用促進事業 △198千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 「東京2020大会」食材供給推進事業 1,500千円 「埼玉県『東京2020大会』食材供給推進会議」を開催し、組織委員会等への働きかけやGAP認証された食材の供給方法等の検討を行う。さらに、推進会議と一体となって、競技会場やレセプション等における食材需要量や農産物の生産実態を調査する。</p> <p>イ 県産農産物利用促進事業 9,000千円 組織委員会やケータリング事業者の利用を促進するため、効果的に魅力を伝達するPR資材の制作や関係者へのPR会を開催するとともに、ケータリング事業者等の要望に応じた食材サンプルの提供を行う。 さらに、ホストタウンやキャンプ地での取組においても利用が促進されるよう支援を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 「埼玉県『東京2020大会』食材供給推進会議」の開催、食材需要量調査、生産実態調査 イ 埼玉の魅力を伝えるPR資材の制作、PR会の開催、食材サンプルの提供、ホストタウン等での利用促進支援</p> <p>(3) 事業効果 県民の県産農産物への愛着向上と利用拡大の機運醸成</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 生産者、各生産団体、流通等事業者等と連携し効果的な事業実施を図る。</p> <p>(5) 補正予算の概要 事務費の節減による減額 △550千円</p>					
2	事業主体及び負担区分 (県 10/10)							
3	地方財政措置の状況 なし							
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円							
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△550						△550	4,713
現計額	5,263						5,263	